

電気式生ごみ処理機についてのアンケート調査結果

平成23年6月に電気式生ごみ処理機設置事業補助金交付制度利用者を対象に、今後の生ごみ減量施策を検討する、基礎資料とするため、電気式生ごみ処理機のアンケート調査を実施しました。

1 調査期間 平成23年6月17日～平成23年7月1日

2 調査対象者と回答状況

次のとおり、746人にアンケート用紙を郵送し、412人に郵送又はFAXで回答をいただきました。

年 度	H15	H17	H19	H20	H21	計
送付者数(人)	255	181	121	109	80	746
回答者数(人)	131	89	67	66	59	412
回 答 率 (%)	51.37	49.17	55.37	60.55	73.75	55.22

3 調査結果のまとめ

今回の調査から、生ごみ処理機の利用は生ごみ減量に効果があり、処理後の物は80%以上の方が有効利用していることが分かりました。また、ごみ減量の効果だけでなく生ごみの臭いが気にならなくなったなど、生活環境面でのメリットも見られました。この他にも、処理機の利用をきっかけに、ごみ減量への意識が高まっていることが分かり、補助効果は生ごみ減量の効果だけでないことが分かりました。

補助制度の必要性については、必要性の高さがうかがえ、特に買換え時の補助は、再購入率の低さからも今後の課題であり、市民ニーズにあった補助制度、より効果的な補助内容とは何かを考えていく際の貴重な資料としたいと思います。

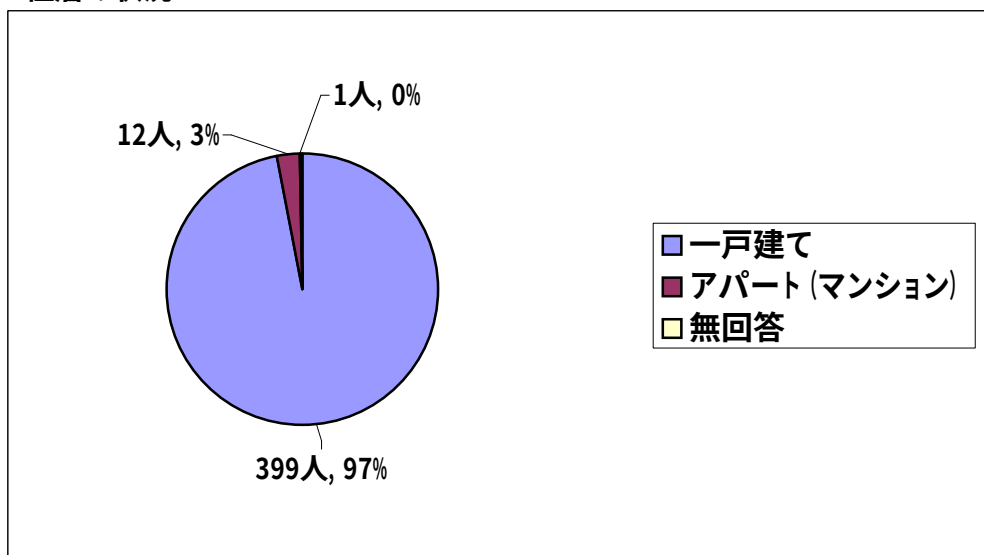
前回調査との比較では、大幅に変化した項目はなく、この補助制度を継続実施してきた有用性やこの補助制度に対する市民の要望が高いことが分かりました。

他にも、ごみ減量に対する考えや、要望を調査したところ、古紙や古布の回収場所の増設を希望する声や情報提供に関する要望もありました。これらは今後の事業実施や広報についての参考とします。さらに調査結果から、ごみ減量に関する各種事業内容やごみ減量の情報を様々な広報手段で継続的に市民の方に周知していく必要があることも分かり、今後も更に積極的な広報を行っていきます。

最後になりましたが、お忙しい中、アンケートにご協力いただいた方々に感謝いたします。ありがとうございました。

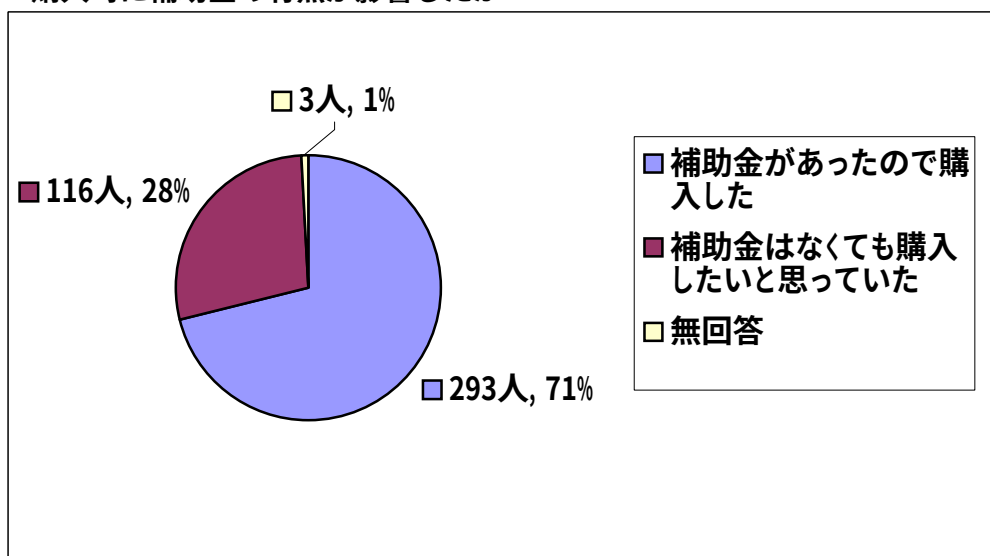
4 調査内容

● 住居の状況



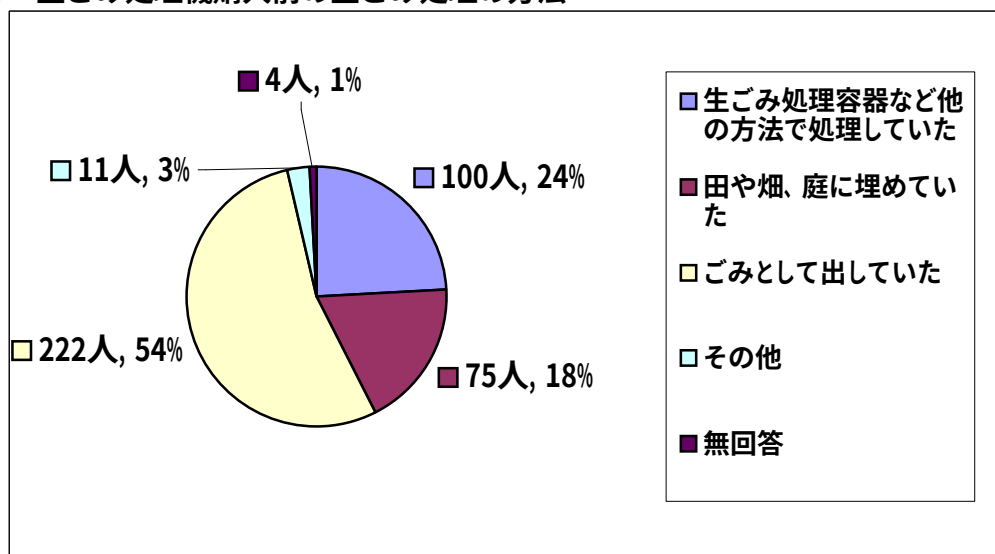
使用者住居は97%が一戸建て住宅である。

● 購入時に補助金の有無が影響したか



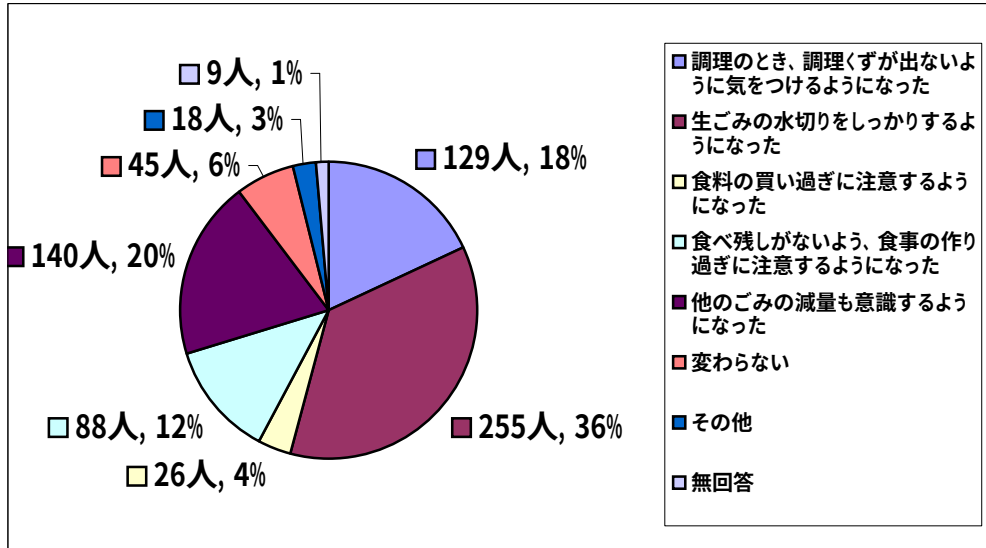
28%が「補助金はなくとも購入したいと思っていた」と回答しているが、71%が「補助金があったので購入した」と回答している。

● 生ごみ処理機購入前の生ごみ処理の方法



24%が「生ごみ処理容器など他の方法で処理していた」、18%が「田や畑、庭に埋めていた」と回答しているが、54%が「ごみとして出していた」と回答している。

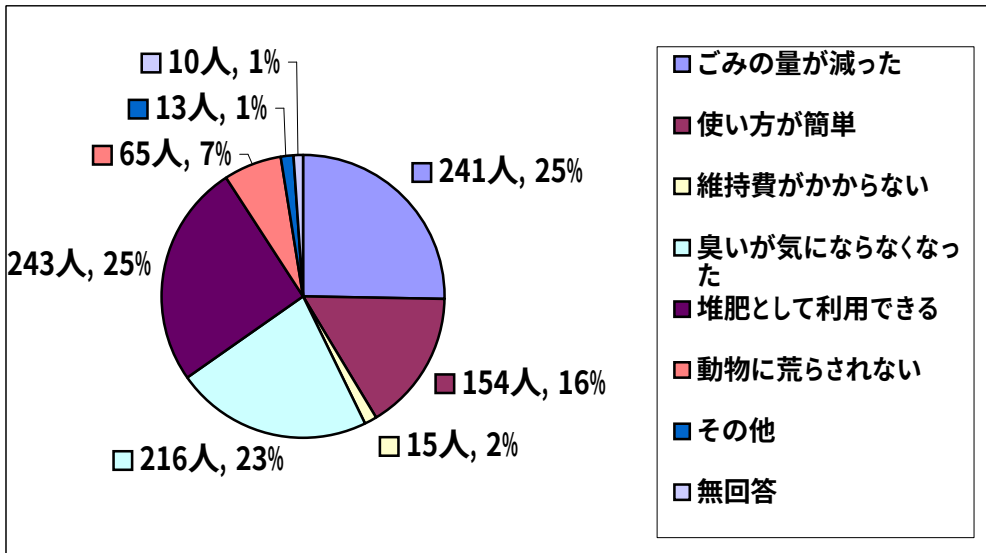
● 生ごみ処理機を使用して、変わったこと（複数回答可）



70%が以前に比べ、生ごみの減量を意識し、特に36%は「生ごみの水切りをしっかりとるようになった」と回答している。

また、20%の人が生ごみ以外のごみ減量も意識するようになったと回答している。

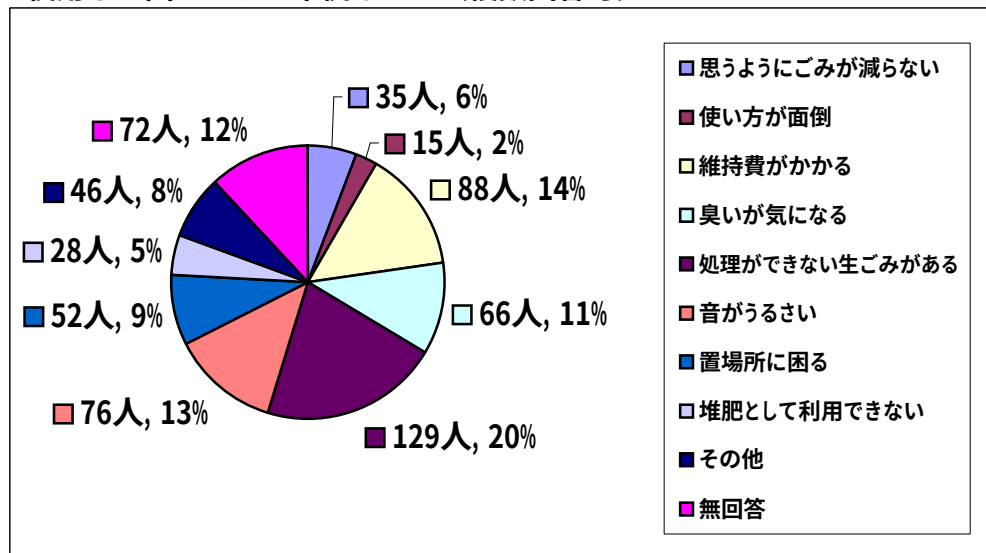
● 使用してよかったこと（複数回答可）



25%が「ごみの量が減った」と回答し、25%が「堆肥として利用できる」と回答している。

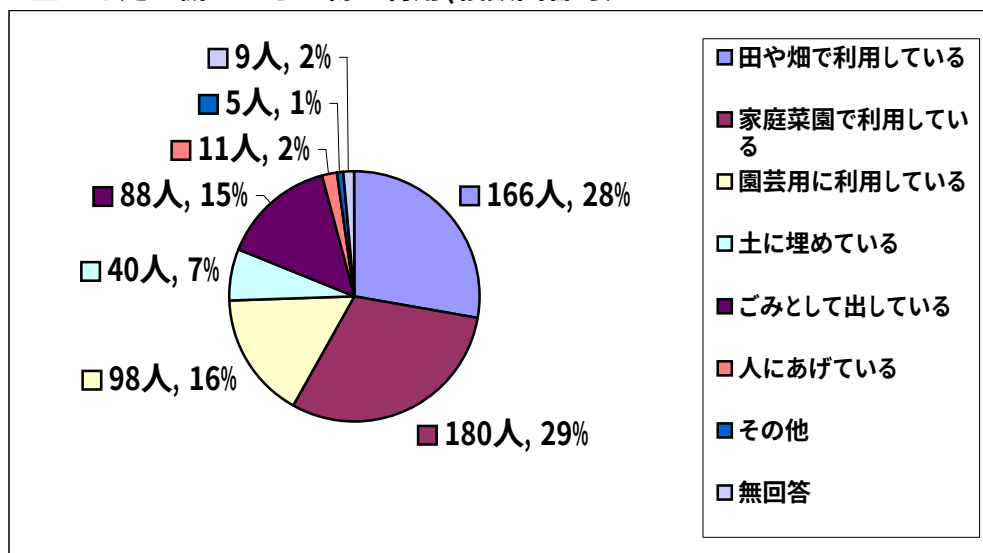
その他、「臭いが気にならなくなった」が23%「使い方が簡単」16%としている。

● 使用して困ったり、不便なこと（複数回答可）



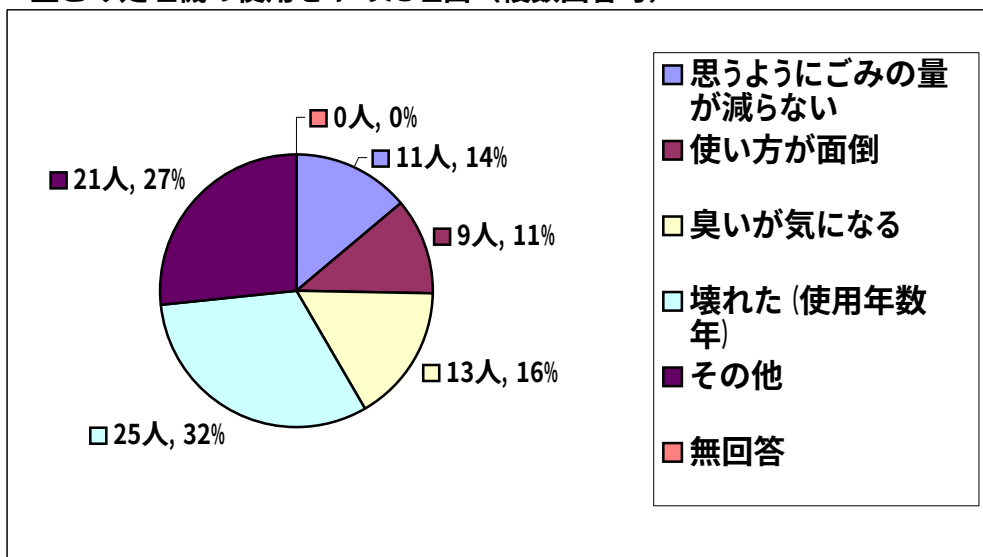
「処理ができない生ごみがある」が20%で多く、その他は「維持費がかかる」14%「音がうるさい」13%「臭いが気になる」11%となっている。

● 生ごみ処理機でできた物の利用(複数回答可)



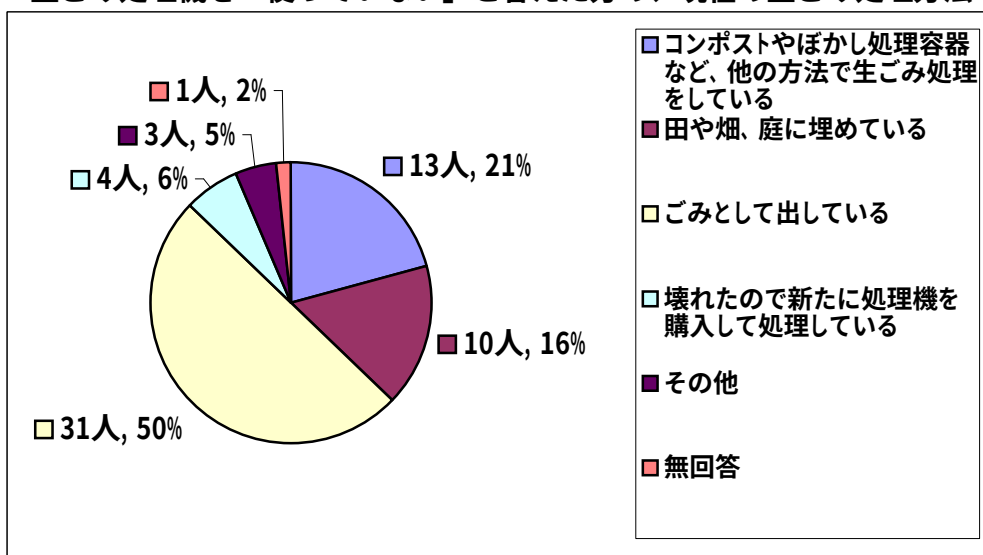
「家庭菜園で利用している」が29%「田や畑で利用している」が28%「園芸用に利用している」が16%と、73%が自分で堆肥利用している。
また、「人にあげている」も2%（1人）あり、15%（88人）が「ごみとして出している」となっている。

● 生ごみ処理機の使用をやめた理由(複数回答可)



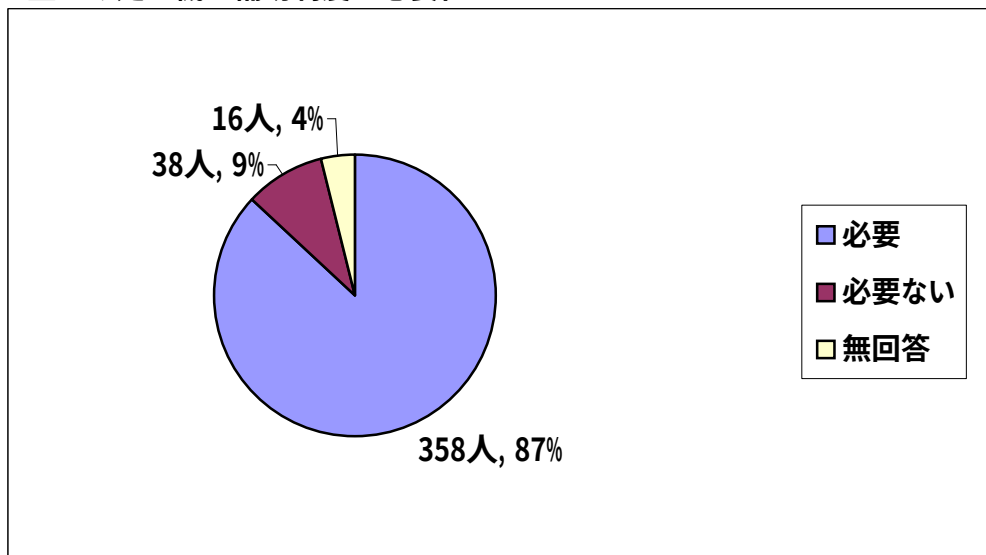
32%が「壊れた」と回答し、16%が「臭いが気になる」と回答している。

● 生ごみ処理機を「使っていない」と答えた方の、現在の生ごみ処理方法



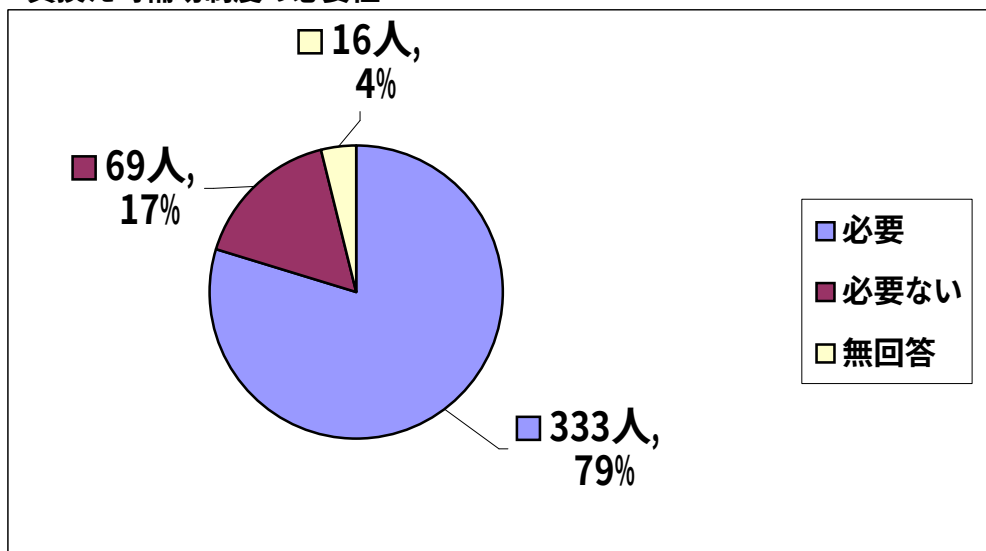
50%が「ごみとして出している」と回答している。
また、21%が「コンポストやぼかし処理容器など、他の方法で生ごみ処理をしている」16%が「田や畑、庭に埋めている」と回答している。

● 生ごみ処理機の補助制度の必要性



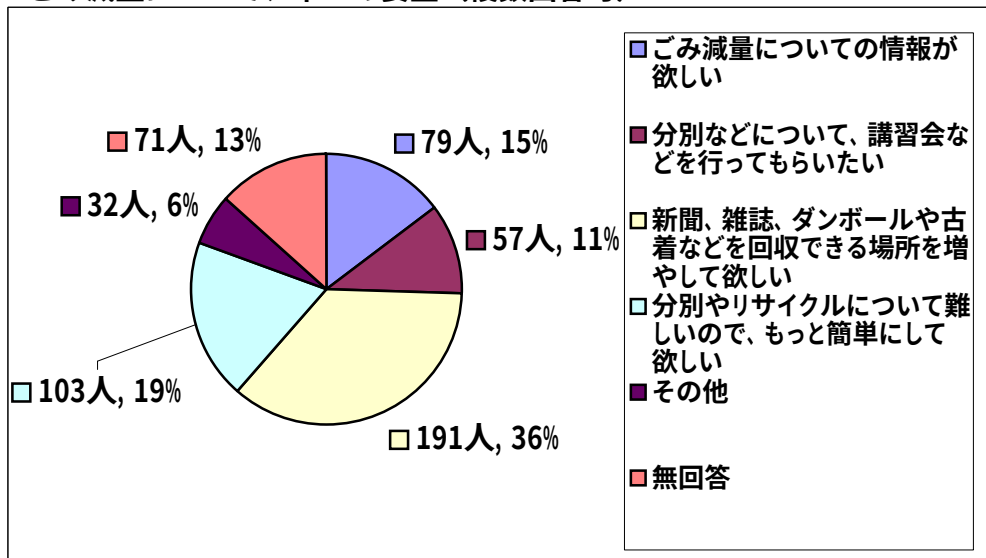
87%が「必要」と回答している。

● 買換え時補助制度の必要性



79%が「必要」と回答している。

● ごみ減量について、市への要望（複数回答可）



36%が「新聞、雑誌、段ボールや古着などを回収できる場所を増やして欲しい」、19%が「分別やリサイクルについて難しいので、もっと簡単にしてほしい」と回答した。